

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
505	30	51.1	53.0	-1.9

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	52.3	55.4	-3.1
	歴史	49.8	50.5	-0.7
観点	知識・技能	53.3	53.8	-0.5
	思考・判断・表現	48.5	52.0	-3.5
	主体的に学習に取り組む態度	41.2	43.1	-1.9
解答形式	選択式	52.5	53.3	-0.8
	短答式	59.6	64.1	-4.5
	記述式	17.4	26.6	-9.2

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	地	歴					
1	選択	○			○		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	39.0	49.2	-10.2
2	選択		○		○			日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断している。	88.9	91.1	-2.2
3	記述		○	○	○			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について、資料をもとに考察し表現している。	25.3	37.6	-12.3
4	選択	○			○	○		日本の漁業や海洋の特色についての理解をもとに、複数の資料を関連付けて読み取っている。	45.7	49.1	-3.4
5	選択	○			○		日本の諸地域	日本の各地方の自然環境について理解している。	64.6	65.3	-0.7
6	短答	○			○			関東地方の自然環境について理解している。	72.7	79.3	-6.6
7	選択		○		○			九州地方の工業の特色について、資料をもとに判断している。	36.4	40.2	-3.8
8	選択	○			○			中部地方の農業の特色について理解している。	29.5	21.0	8.5
9	選択		○		○			北海道地方の酪農について考察している。	73.5	81.5	-8.0

10	選択					日本の諸地域	近畿地方や中部地方の工業の特色についての理解をもとに、地図に着目して判断している。	36.2	36.1	0.1
11	短答	○				地域調査の手法	扇状地について理解している。	51.7	55.8	-4.1
12	選択		○				地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察している。	76.2	81.6	-5.4
13	選択	○			○		地図記号の理解をもとに、地形図を読み取っている。	65.5	64.5	1.0
14	選択	○				ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ルネサンスや大航海時代について理解している。	38.4	32.0	6.4
15	選択	○					ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解している。	59.0	52.3	6.7
16	選択	○					織田信長による統一事業について、資料を読み取っている。	61.4	66.1	-4.7
17	選択	○					織田信長による統一事業について理解している。	71.1	52.3	18.8
18	選択		○				豊臣秀吉による対外政策について、資料をもとに判断している。	60.2	62.7	-2.5
19	選択		○			江戸時代	徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断している。	54.9	62.7	-7.8
20	選択		○	○			江戸時代の大阪の蔵屋敷が集中していた地域について、資料をもとに判断している。	67.7	67.9	-0.2
21	短答	○					蘭学について理解している。	52.5	63.1	-10.6
22	選択		○				幕府の政治改革や欧米諸国の接近について、資料をもとに判断している。	33.5	34.3	-0.8
23	選択		○	○			開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	41.6	38.2	3.4
24	選択	○				明治時代	地租改正について、資料を読み取っている。	43.7	49.9	-6.2
25	短答	○					殖産興業について理解している。	61.9	58.2	3.7
26	選択	○					板垣退助による政党結成について理解している。	47.8	53.1	-5.3
27	選択		○				大日本帝国憲法の制定について、資料をもとに考察している。	44.4	48.9	-4.5
28	選択		○	○		日本の地域的特色と地域区分	日本の工業の特色についての理解をもとに判断している。	30.7	30.0	0.7
29	選択	○			○		日本の農業の特色について、複数の資料を関連付けて読み取っている。	48.3	49.1	-0.8
30	記述		○	○		明治時代	幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現している。	9.5	15.6	-6.1

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（地）地理 （歴）歴史

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
6	日本の諸地域	関東地方の自然環境について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
17	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長による統一事業について理解しているかどうかをみる。		選択
2	日本の地域的特色と地域区分	日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
9	日本の諸地域	北海道地方の酪農について考察しているかどうかをみる。		選択
12	地域調査の手法	地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号19、30」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
1	39.0	49.2	-10.2	知識・技能	選択
問題の内容	日本の地域的特色と地域区分				
出題のねらい	日本の地形の特色について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	地理的事象や関連する語句の伝達だけでなく、日本の地形の特色に関する課題などを設定し、フォッサ・マグナを境にして分けた地域区分を比較し、共通点や差異、分布の傾向性に着目して、多面的・多角的に考察し、国内を大きく区分して見ると、西南日本には東西の方向に、東北日本には南北の方向に背骨のように山脈が走ること等の知識を基に、その結果を表現できるよう展開が考えられる。また、地図帳を十分に活用しながら日本全体としての地域的特色を理解することが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
19	54.9	62.7	-7.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容	江戸時代				
出題のねらい	徳川家光が改訂した武家諸法度の内容について判断できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題(問い)を設定し、個々の生徒が、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察し、これらの考察の結果を表現する活動などを工夫して、幕府と藩による支配が確立したことの理解を目指すという展開が考えられる。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
30	9.5	15.6	-6.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	明治時代				
出題のねらい	幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「社会の変化と幕府の政策の変化」などに着目して課題(問い)を設定し、近世社会の基礎が動揺していったことに気付くことができるようにするとともに、江戸時代後半の外国船の接近や、それに対応した幕府による北方の調査や打払令などを扱い、それらの背景について考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことの理解を目指すという展開が考えられる。				

こんな姿を
目指したい！

自ら課題を見出し、学習を調整しながら 追究する生徒

課題がある設問（通し番号 19、30）

- 徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断する問題。
- 幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し表現する問題。

分析と課題

- 社会的事象の意味や背景の理解に課題がある。
- 複数の事象をもとに考察し、表現することに課題がある。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的な見方・考え方を働かせた課題解決的な学習の実施
 - ・課題設定の工夫・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



歴史的分野の学習で...

日々の学習における改善・充実

※本事例は、学習指導要領歴史的分野 B(3)ア(4)を基に単元を構成した際の、単元中の1時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解項目の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善のpoint」参照)

授業改善の POINT

それぞれの幕府の
実質的な支配期間
ですが...

えっ？江戸幕府だけがそんなに
長いんだ...

江戸幕府が見つけた秘訣はな
んのだろう。

なぜ、江戸幕府は長い間政治の権力をたもてたのだろうか？

教科書には、「武家諸法度」や「幕藩体制」ということが書いてあるよ。

大名の配置についての地図も載っているわ。

〇〇さんの意見を見てみると、こんな考え方もあるのか。

教科書と地図資料の関連も考えると、参勤交代や大名の配置、幕藩体制などの制度はそれぞれが個別ではなく...

1人1台端末とクラウド環境を活用し、他の生徒の意見を共有しておくことは、思考の広がりや意見の比較に有効である。

教科書で調べてみただけだと、幕府は対外政策にも力を入れていたみたいだよ。

幕府が長く続いたのは参勤交代だけが理由ではない？もっと様々な面から調べてみよう。

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところが見えてきました。もう一度、まとめを見直してみよう。

幕府はどのような国づくりを目指していましたか？

なぜ、このような大名の配置にしたのでしょうか。

他幕府と比べてみるとどうですか？

それほど、盤石な支配体制の江戸幕府はなぜ終わりを迎えるのだろうか？

日本が鎖国をしている間他の国はどのような動きをしていたのだろうか？

「歴史的分野 C(1)ア(ア)欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」の学習へ

生徒は課題意識をもっていますか？

生徒が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

生徒が協力的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

生徒は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

生徒の疑問を引き出す工夫をしていますか？

理解させたいことにつながる単元の学習問題や各時間の学習課題を、生徒とともに設定していますか？

情報収集、読み取り、まとめ等の指導を積み重ねた上で、学習活動を生徒に委ねてみませんか？

「見方・考え方」等の追究の視点や方法についての指導を積み重ねていますか？

生徒が、社会的な見方・考え方を働かせて、
課題を追究したり解決したりする学習過程の工夫をしよう！

ここが
Point